



発行日 平成30年7月20日



No. 4

よく頑張った一学期…そして夏休みへ

校長 宮 居 伝

明日から、いよいよ夏休みに入ります。子どもたちは、この一学期間、実によく頑張りました。毎日の生活の中では、一日一日の進歩や変化の様子は、はっきりと感じとれなくても、新しい学年になった4月当初と今を比べると、確かな成長が実感できるのではないのでしょうか。

4月9日の始業式で、わたしは子どもたちに、

- 「よく学び よく遊ん」で「やった！できた！」をいっぱいつくろう
- 「あいさつの声がひびく南小」をつくろう
- 「みんな なかよく みがきあう南小」を目指そう

という願いを伝えました。



どれだけの子どもたちが、この願いを、常に意識してしてくれたかはわかりませんが、日々の小さな取組の中で、子どもたちの頑張りや成長が感じられた一学期でした。

まず、子どもたちの学習に向かう姿勢で感心したことです。「やってみよう」や「ちょっとの我慢・頑張り」を少しずつ繰り返し努力している子どもが実に多いことです。大きな「やった！」も必要ですが、小さな「できた！」の積み重ねもまた、成長の中では大切なものです。ある時、仕事の関係で、いくつもの学校を回っておられる方が、「運動場が子どもでいっぱい。ここの学校の子どもは外遊びが好きですね。」と話してくださいました。時期的に制限を加えることもありますが、屋外で、そして集団で遊ぶことは、豊かな心身を育む上で、とても価値のあることで、これからも大切にしたい本校の伝統です。

また、この一学期、地域の方や来校者の方々から、元気に、そして爽やかに挨拶をする子どもたちの様子を誉めてくださる声を、何度かお聞きしました。確かに、挨拶の音が響くようになってきた感触はありましたが、周囲の方々からの声をお聞きし、たいへんうれしく思いました。人と人が交わる上で大切な「あいさつ」をしっかりと身につけてくれるよう、さらに努力していききたいと思います。

そして、本校の合い言葉である「みんな なかよく みがきあい」に向け、子どもたちはもちろん、本校教職員も切磋琢磨していきたくて考えています。子どもたちの表す姿は一人ひとり異なりますが、集団生活（小さな社会）だからこそ体験できること、学べることを、引き続き大切にしていきたいと思っています。

最後になりましたが、この一学期間、保護者のみなさまや地域の方々には、多くのご支援ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。ほんとうにありがとうございました。

こんな体験もしました！



子どもたちが地域でお世話になります！よろしくお願いいたします！

子どもたちは夏休みに入り、地域で過ごす時間が多くなります。夏休みだからこそできる貴重な体験や学びをしてくれることと期待しています。

*子どもたちが、夏休みを、楽しく安全に、そして健全に過ごしてくれよう、引き続き、「目配り・声かけ」をよろしくお願いいたします。

*子どもは未来の、そして地域の宝もの。この大切な宝ものを育てるために、みなさまのお力添えをよろしくお願いいたします。



米原市竜巻災害
西日本豪雨被害支援募金

ご協力ありがとうございました！

38,334円の募金をいただきました。

日本赤十字社を通じて、被災地に届けさせていただきました。